

ご協力ありがとうございます！

(敬称略)

新入会：金森 克己

田中 一生

特定非営利活動法人わかば

スポーツ&カルチャークラブ

有限会社ミュージックスター

トレンドエンタープライス

寄付金：

糸田町役場

金村神社

☆新入会、随時募集中です！！

オイスカ会員制度ご入会案内記載

オイスカへの入会方法が変更になりました。具体的には年度を四半期に分け、入会月により初年度会費額がかわります。これにより入会のお勧めや入会もしやすくなりオイスカ活動へ参加をいただけます。これからも更に活動の輪を広げていけるよう努めてまいりますのでよろしくお願い致します。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。(担当:満川、安東)

初年度会費 (H28年度より)

・特別個人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	50,000円	37,500円	25,000円	12,500円

・特別法人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	100,000円	75,000円	50,000円	25,000円

・維持個人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	20,000円	15,000円	10,000円	5,000円

・維持法人会員(年額一口)

入会月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会費額	40,000円	30,000円	20,000円	10,000円

※ 入会申込書の日付で会費額を決定する。

7月の予定

- 1日(日) 大野城市国際交流協会 tomorrow 交流会
田隈公民館バザー
日本語能力試験
- 4日(水) 中部・西日本研修センター合同研修、
視察(～9日)
- 7日(土) MUFG 中部地区社員交流会、
福岡県議会議員連盟パプアニュー
ギニア視察ツアー(～12日)
- 9日(月) 佐賀県推進協議会幹事会
- 11日(水) 早良小学校派遣授業
脇山公民館モンゴル料理教室
- 12日(火) 博多祇園山笠追い山ならし見学
- 14日(土) 朝倉推進協議会役員会
福岡・マレーシア友好協会ボウリング大会
- 15日(日) 赤坂幼児研究会つみき広場
佐賀ラグビークラブの翼ツアー説明会
- 18日(水) 長崎県推進協議会佐世保研修
- 21日(土) こらぼらQ でん(田の草取り、野菜収穫)
- 26日(木) 西日本支部幹事会
オイスカ「集まれ! 地球体験村」
アトリエ木下写真展(～29日)
- 28日(土) サマーナイトフェスティバル
- 31日(火) 石丸小留守家庭子ども会つみ木広場

鬼木大明神 今月の一句

「物事のすべては、自分に原因がある」この考え方(内省的思考)そこが自分を成長させて呉れるのだ!!

物事を一つの視点からだけで見るな! 複眼的によく検討せよ!!
自分は悪くないとか見て見ぬふりを
して来た自分の非に気づくはずだ!

周りの人や社会のせいにするな! 自分の非を直視せよ!

されば、物事は良い方向に動き出す!!

唱

まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscanto@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

第 658 号

平成 30 年 7 月号付録



←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中!
是非チェックお願いします!



研修生の基礎研修修了式

6月9日に2ヶ月間の基礎研修を終えました。基礎研修中は主に日本語、日本のマナー、交通ルール等について勉強しました。この日は2ヶ月間の締めくくりとして基礎研修修了式とスピーチコンテストを行いました。スピーチでは母国の食べ物、有名な場所、家族のこと、日本で勉強したいことなどを話してもらいました。

本番までに何度もスピーチの練習をしたのですが、前に出ると頭が真っ白になります。と皆が言っていて心配でしたが、本番で



第一位のアマさん



は堂々と話せていました。
気になる結果ですが、第一位 マレーシアのアマさん、第二位 インドネシアのシティさん、第三位 スリランカのチャムルさんとなりました! 基礎研修中、日本語の指導をしてくださった先生方ありがとうございました!!

基礎研修修了後は農業が中心となりますが、引き続き日本語の勉強も頑張りましょう!(園田)

オイスカ佐賀県推進協議会 30 周年記念行事

6月17日(日)、佐賀県駅北会館でオイスカ佐賀県推進協議会(島松孝夫会長)の30周年記念行事が行われ、50名近くの参加者がありました。

第1部式典の主催者挨拶の前に佐賀県推進協議会にご尽力いただきました物故者への黙祷で始まり、副島良彦佐賀県副知事、松田一也基山町長、廣瀬所長からそれぞれご祝辞を賜りました。また、記念講話として現在行われています「肥前さが幕末維新博覧会」について事務局次長の石井正宏様からご紹介をいただきました。

講話後、会員継続30年の表彰と30年継続されたオイスカコスモスの会の閉会の挨拶もありました。

第2部の懇親会では、食事を囲みながら海外研修生との談話や一緒にダンスをするなど和気あいあいとした楽しい時間となりました。

次の40周年に向けて、オイスカ佐賀県推進協議会はこれからも活動し続けますのでご支援、ご協力をお願い致します。(安東)



40周年・50周年に向けて、がんばります～!



アテリナの「私に言わせて」



これから脇山でイベントがたくさんあります。今月の28日(土)にサマーナイトフェスティバルが行われます。研修生達が踊りや歌などします。それだけではなくアテリナのインド風の美味しいカレーライスがでます。いろんなアトラクション、食べ物、などがあります。是非、是非来てください!!! 楽しいです～～!!

脇山歓迎会

6月2日に脇山公民館で研修生の歓迎会が行われ、地域の方々が40名ほど参加してくださいました。カンボジア研修生のチャントーさんによる歌から始まり、国の紹介やゲームをしました。牛乳パックを積み重ねて高さを競うゲームやうちわを使ったゲームをして子供はもちろん大人も大盛り上がりでした。最後に研修生による踊りと歌を披露しました。楽しい歓迎会を開いていただきありがとうございました。これから様々な交流があるので楽しみにしています！（園田）



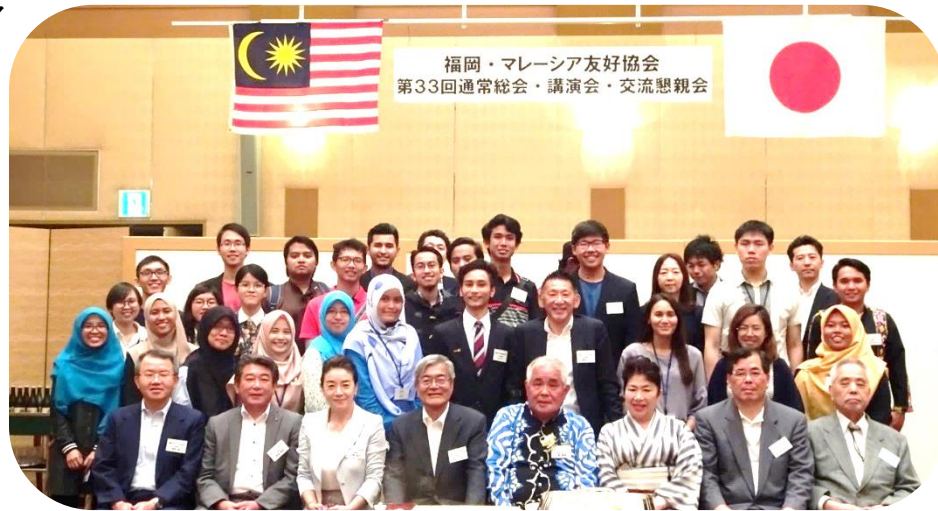
うちわを使ったゲームの様子



国の紹介をしている様子

福岡・マレーシア友好協会年次総会・懇親会

6月11日、西鉄グランドホテルにて、福岡・マレーシア友好協会の年次総会・懇親会にマレーシア研修生のムスさんとアマさんを同行して参加しました。総会では、毎年度の活動報告及び今年の活動予定が報告され、オイスカ海外研修生との交流も企画されております。懇親会では、イスラム教の断食期間中とのこともあり、開始が日没後となりましたが、研修生を始め、留学生等も多く集まり、久しぶりのマレーシア料理に大喜びでした。今年マレーシア史上初の政権交代もあり、これからの日本とマレーシアと友好関係により一層の拍車がかかることを願っています。（廣瀬所長）



センターの研修生・留学生・友好協会の方々との集合写真

オイスカ活動鹿児島県推進協議会総会

6月7日（木）、かごしま市民福祉プラザにて平成30年度のオイスカ活動鹿児島県推進協議会（海江田順三郎会長）の定期総会が行われました。今年も10数名ほどの出席者があり、全ての議案で承認を頂き、滞りなく議事が終了しました。今回から新会長として（株）南日本総合サービスの吉田健朗代表取締役が就任され、海江田前会長は相談役として引き続き鹿児島推協にご協力していただきます。吉田新会長に代わり、新たな会員獲得も期待し、鹿児島推協の拡大につながればと思います。（安東）



技能実習先紹介（本石産業）

有限会社本石産業は昭和28年に屋根工事業として創業され、現在は3代目の本石敏明さんが社長をされています。

現在はインドネシアのフェルディさんとデオさんがここで実習をしています。技能実習生を受け入れるきっかけとなったのが、日本の若者の人手や後継者不足によるものとインドネシアでは日本同様、瓦屋根の家が主流で現地でも役立つ技術であるからです。長年、ボランティア活動に携わり、オイスカの技能実習制度があることを知って実習生の受入れを始めました。

「今でこそ、真面目で一生懸命に働いていて、会社にとって非常に助かっていますが、受け入れ当初は日本人の見る目が厳しいこともありました。社員さんや他の人とのトラブルもなく毎日一生懸命実習に励んでいます。休みの日には地域の方々とスポーツ交流など楽しんでいます。だんだんと技能を身に付けているため指導もしやすく、また周りからの評価も高いので受入れ先としてとても満足していますが、生活面では、イスラム教のラマダンもあるので体調面や気候の変化などで心配もしています。」と話されていました。

フェルディさんとデオさんは技能実習を続けていくために必要な資格を得るための努力をしています。また、これまでにインドネシアから4人の技能実習生を受け入れてきましたが、地域のコミュニティと交流できれば、将来的に東峰村や朝倉市の復興につながるのではと期待もされています。（安東）



左からデオさん、本石社長、フェルディさん



作業中の様子

脇山小学校研修生歓迎交流会

翌週の脇山田植え大会を控え、この日の交流を皮切りに今年一年間の脇山小学校との交流がはじまりました。研修生にとっては今年初めての交流の場で少し緊張気味ではありましたが、子どもたちは、今年の研修生はどんな人たちなんだろうと、楽しみにしてくれたのが伝わってくるぐらい嬉しそうにしていました。研修生たちもすぐに打ち解け短い時間の交流となりましたが、帰り際に次の授業も参観させていただき楽しい時間となりました。これからの交流も楽しみにしています。また、外で見かけたときはいつでも声をかけてください。ありがとうございました。

（彦坂課長）



子どもたちと一緒に楽しく遊んで、踊っている研修生達



オイスカタイ総局一行センター訪問

6月8日(金)～14日(木)にかけて、オイスカタイ総局の一行8名が福岡を訪問し、10月に実施されるタイ国チェンライ県の農村の方を対象とした視察プログラムの下見と調整を目的として見学が行われました。

福岡に滞在したのは初日の6月8日と13日の2日間で、それ以外は宮崎県の諸塚村や大分県に出向いて見学を行っていました。

福岡県では、センターの地元脇山の農家のお母さんの取り組みの見学や、うきは市にある果物の栽培農家の農園見学やジェラートのお店など、加工も含めた農家さんの取り組みを見学しました。

タイのチェンライ県という所は、タイ北部の山間部に位置しており、その農家さんにとって参考になる視察の内容を準備するという事で、皆さん真剣に視察に取り組んでいました。(豊田副所長)



タイ一行8名と一緒に
写真撮影

防災訓練

6月21日にセンターで防災訓練を行いました。始めに30分ほど防災に関してのDVDを観賞しました。その後、消火器、避難方法についての説明のあと実際に警報器を鳴らして避難訓練を行いました。数日前には、大阪で大きな地震もあり大変な被害がでました。また、昨年の7月には九州北部地方でも大雨による災害があり、いつどこで災害が起きるか分かりません。研修生たちにも日頃から防災の意識を持ち、災害時にまずは自分の身を守る行動をとれるようにしてもらいたいです。(彦坂課長)



イエローレシートキャンペーン

6月11日(8月)、イオン甘木店でイエローレシートキャンペーンが行われ、海外研修生7名とオイスカ朝倉推進協議会(秋重義信会長)からも3名ご参加いただきました。

基礎研修を修了したばかりの研修生は覚えてたの日本語を使って一生懸命キャンペーンご協力の呼びかけをしたり、朝倉推進協議会の秋重会長や鶴田副会長と話をしていました。最後の方はかなり慣れてきて、とても楽しくキャンペーンに参加できたと思います。

次回は来年1月の予定で、多くのレシートのご協力をお願い致します。(安東)



朝倉推協役員と研修生
一緒に頑張った様子

長崎県推進協議会総会に参加&長崎県立大学学生との交流会参加

6月12日(火)、長崎県推進協議会の総会が佐世保市内のホテルで開催され、センターからも研修生全員で参加してきました。

平日という事もあり、総会に出席した会員さんは8名と若干少なかったですが、研修生と懇親を深めたり民族舞踊を披露したり、大変賑やかで楽しい総会を行う事ができました。

総会が終了してから佐世保市内にある長崎県立大学のキャンパスに出向き、職員の皆さんから温かい歓迎を受けてから、講義への参加や学生との交流会など楽しい時間を一緒に過ごすことが出来ました。

特に女性の研修生は、浴衣の着付けをはじめて体験するなど貴重な体験もさせていただき、お互いに楽しい思い出をつくる事が出来ました。

長崎県推進協議会の皆様、楽しい思い出を有難うございました。(豊田副所長)



オイスカ長崎県推進協議会と研修生達の集合写真



長崎県立大学で学生と
の交流会の様子

熊本県西原村へ農業、草刈りボランティアに行ってきました

6月19日(火)、熊本県西原村へ草刈りと農業のボランティアに研修生、スタッフ合わせて17名で参加してきました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、草刈りの作業は通常通り実施され、がけ崩れの被害が一部あった斜面と畑の草刈りを無事終了し、地元の方からの要望にも応えることが出来ました。

参加した研修生も一生懸命作業に参加し、地元の方も「よく身体が動くね」と感心していました。

農業ボランティアでは、サツマイモの苗場の片付け作業やニンニクをきれいにする作業を倉庫内で行い、農家のお母さんたちとも仲良くなって、楽しく作業を行う事が出来ました。(豊田副所長)

西原村での草刈り
ボランティア作業の様子



OB 研修生のナラさんの帰国挨拶

私は去年の4月5日に西日本研修センターへ来て、1年3ヶ月間の指導員研修を受け、帰ってからリーダになるために、先生方から色々な勉強をさせていただき本当にありがとうございました。研修期間中に間違いがあったら、申し訳ございませんでした。帰国日ちょうど私の誕生日です。面白くて、思い出に残ると思います。

国へ帰ってからやりたい仕事がたくさんです。その中で一番やりたいことはゴミを解消することです。朝倉市で3日間のホームステイに行きました。その時、ホームステイのお母さんにこういうことを聞きました。「日本の海なぜとても綺麗ですか。」私の故郷のラバウル州のココボ町の海の近くのゴミがなかなか無くないです。以前JICAボランティアの人達と近くの海を掃除しました。しかし、数日後、またゴミがありました。ゴミはどこから来ているか分かりません。ですから、帰ってから、農家の人々に日本で学んだ知識を伝えたいです。これからが大変と思いますが応援よろしくお願いします。本当に世話になりました。(ナラ)



早良中学校職場体験

6月27日、28日に早良中学校の生徒2名が職場体験に来ました。職場体験は進路学習の一環として行われています。仕事を直接体験することで社会で働く様々な人の生き方に触れたり、働くことの意義を学ぶことが目的となっております。今回、研修生と一緒にネギの定植、イチジクやトマトの管理、玉ねぎの根を切る作業を体験してもらいました。

川邊さん(左)「オイスカの方達と農業体験ができて、いろんなことを学んだり、楽しむことができたからよかったです。」

真子さん(右)「2日間オイスカの皆さんと農業の体験をして、農業の大変さや大切さを身をもって感じる事ができました。貴重な体験ができて良かったです。」

2日間お疲れさまでした！この体験がなんらかの形で将来に繋がると嬉しいです。(園田)



三菱 UFJ ニコスの皆さんと 朝倉ボランティア参加

6月23日(土)、三菱 UFJ ニコスの福岡支店の社員の方を中心に18名が参加し、オイスカからは研修生とスタッフ合わせて13名が参加し、計31名のチームで朝倉復興支援のボランティア活動に参加してきました。

当日の午前中はあいにくの雨模様で、倉庫内での作業が中心になりましたが、7月に実施予定のイベントで使用する竹燈明の材料を伐採、加工する作業を行いました。

午後からは雨も止んで、一部の参加者で柿畑の土砂出し作業を行い、竹林の伐採作業も含めて気持ち良い汗を流すことが出来ました。

7月5日で被災してから1年が経過しますが、被災した当時の状態がそのまま残っている家屋や農地もまだまだたくさんあります。

オイスカとしても様々な企業や団体の方と一緒に、今後もボランティアの活動を継続していく予定です。(豊田副所長)



福岡リバティライオンズクラブ 35 周年記念事業として西日本研修センターへ寄付金贈呈

福岡リバティライオンズクラブの結成35周年事業として西日本研修センターへ20万円の寄付金目録を6月26日の例会で松原会長より廣瀬所長へ贈呈されました。このクラブは発足以来西日本研修センターの事業はじめ海外の研修生に対してのご支援や、またオイスカパラオ研修センターの建設等にも多大なご協力をいただく等、これまで長年にわたりご支援をいただいてまいりました。クラブの皆様ご支援有難うございます。

これからもよろしくお願いします。(満川)



廣瀬所長へ
寄付金贈呈



「田植え大会」今年も盛りだくさん

今年も6月2日(土)のこらぼらQでんの主催イベントである田植え大会を皮きりに、6月16日(土)の脇山校区主催の田植え大会にかけて、計4回田植えのイベントが開催されました。

6月2日(土)のこらぼらQでんの田植え大会には、ボランティアの参加者を含めて200名もの方に参加していただき、「元気つくし」の苗を20aの田んぼに植えていきました。毎年このイベントでは、田んぼアートづくりという事で、毎回田んぼの中にデザインされたキャラクターの絵の中に、3種類の苗を間違えのないように植える作業も行います。植え終わった瞬間にはみんなで喜びを分かち合う光景も見られました。

翌週の6月9日(土)にはオイスカ主催の田植え大会が開催され、今回はJR九州の本社からも家族連れで参加して頂き、昼食にはバーベキューも振舞われ、海外研修生の歌ありダンスありで大いに盛り上がった田植え大会となりました。

そして最終日である脇山校区主催の田植え大会では、今年が主基齋田90周年という事で「お田植え祭」の記念行事として盛大に開催されました。

聞くとところによりますと、当日は400名の方が会場や田んぼに訪れ、伝統的なお田植え舞の踊りに合わせて、早乙女の皆さんが田んぼに入って田植えをする風景は、まさに感動的で、本当に素晴らしいものを見せてもらいました。

その他にも春日市にある若竹保育園の年長園児を招いて田植え行事を開催したりと、毎週忙しく田植えの季節を過ごしました。稲作担当のマルビンさん、そして研修生の皆さん、本当にお疲れ様でした。この調子で稲刈りもよろしくお願いしますね。(豊田副所長)



主基齋田90周年記念・お田植え祭の様子



こらぼらQでん植え大会の様子



体験農園、JR九州の皆さんとの田植え大会

体験農園だより

うっとおしい梅雨空が続くかと思えば、急に強い日差しが照り付ける猛暑日になるなど、身体が気象の変化に追いついて行けない日々が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

このような異常気象が続く昨今では、安定的な生産を維持するための作物を栽培することが非常に難しい状況になっています。

この状況は日本に留まらず、海外研修生の国でも同様な問題が起こっています。

大雨や巨大台風による被害や大干ばつなど、灌漑設備や排水設備が整っていない途上国の農村地域では、農業の安定した収入が得られずに、別の職を求めて街に出稼ぎに行く農家が急激に増えています。

大自然の力に抵抗することは出来ませんが、不安定な気象条件に対応するためにも、土作りを基本とした有機農業の普及は非常に重要なテーマとなっております。

日本で研修を受けたオイスカ研修生OBが、それぞれの母国で持続可能な農業生産を目指して頑張ってくれることを期待しながら、しっかりと応援していきたいと思います。(豊田副所長)